

提案タイトル	山間地域におけるスマートモビリティによる生活交通・物流融合事業
提案者	活用技術
埼玉県秩父市	IoT、5G、自動運転、ドローン

■ 背景・課題

目指す将来像	- 未来技術を活用し、人とモノの移動の困難さに着目した山間地域での物流・公共交通ネットワーク「秩父モデル」を構築する - この取り組みにより新たな事業や産業を誘致し、雇用の創出につなげて人口減少や流出を抑制し、地域の活力を生み出す
解決すべき課題	- 山間地を多く抱え、災害時には生活インフラが寸断されることから、物流・交通の新たなモデル構築が必要となっている - 山間地の住民の多くが高齢者であり、今後、医療受診が困難となる状況が予想される

■ 実装を目指す主な事業内容

○事業：ドローン物流事業

活用技術	事業概要
ドローン	ドローンを活用して日常生活用品や医薬品の配送を行い、高齢者や買い物弱者への支援を行う。また、この取り組みにより、災害時における交通インフラ寸断の際の物資輸送のルートを確認する

○事業：遠隔医療事業

活用技術	事業概要
IoT 5G	高齢者が多い山間地域での医療を確保するため、IoTや5Gなどの未来技術を活用してオンライン診療を導入し、地域内の医療機関との連携により、受診困難者への支援体制を構築する

○事業：秩父版MaaS(貨客混載・EVカーシェアリング)事業

活用技術	事業概要
自動運転	既存の物流・交通網を生かしながら、地域住民の生活の足の維持と観光客を含めた交流人口の利便性の向上に資する公共交通システムを自動運転(配送)の技術を織り交ぜて構築する

